

飛鳥時代

(1) 東アジアの動き

① _____の時代[589～618年]

皇帝中心の官僚政治が行われた。黄河と長江を結ぶ運河がつけられた。高句麗に大軍をおくり人々に負担をかけたため、内乱がおこり滅んだ。

② _____の時代[618～907年]

朝鮮半島からインドシナ・中央アジア・モンゴルまで支配下においた。

- ア _____を首都として、皇帝を中心とする中央集権の政治を行った。
- イ _____政治を行った。→日本に影響を与えた。
- ウ 均田制…戸籍をつくり農民に土地を支給、租・庸・調などの税を課した。
- エ _____を通して西方(イスラム帝国)の文化が伝わった。

(2) 聖徳太子の政治

① 内外の情勢…日本は朝鮮半島での勢力を失いつつあった。また、国内では蘇我氏が勢力を強め、対立する物部氏を滅ぼしたり、天皇を殺害したりした。

② _____…推古天皇の_____となった聖徳太子は、蘇我馬子と協力して政治を行った。

- ア _____…家柄によらずに、個人の能力に応じて人材を登用した。
- イ _____…役人の心得を示した。
- ウ _____…_____を隋に送り、対等の立場で国交を結ぼうとした。
- エ 仏教を保護…飛鳥地方に_____、大阪に四天王寺を建立した。

③ 飛鳥文化

ア 皇族・豪族中心で、我が国最初の仏教文化で、中国・インド・ペルシャ・ギリシャなどの影響を受けた文化である。

イ 建築…法隆寺は、現存する世界最古の木造建築物。また、柱のふくらみ(エンタシス)にギリシャの影響が見られる。他に、四天王寺・法興寺・広隆寺など。

ウ 彫刻…釈迦三尊像・百済観音像・弥勒菩薩像など。

エ 工芸…玉虫厨子など



飛鳥時代

(3) 大化の改新

① 聖徳太子の死後、強大化した蘇我氏が政治の実権を握った。そこで、中大兄皇子は中臣鎌足らと協力し、天皇中心の政治を目指した。

② 大化の改新…645年、_____は_____らと協力し、蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼし、新たに天皇が即位して、初めて年号と大化と定めた。翌年、改新の詔を發表した。

- ア _____…私有地や私有民を廃止し、直接国家が支配した。
- イ 全国を国・郡にわけ、それぞれ_____と_____を置く。
- ウ _____…戸籍をつくり、_____を割り当てた。
- エ 税制…_____・_____・_____を定めた。

③ 改新後の政治

ア 白村江の戦い…百済を救うため朝鮮に出兵したが大敗、朝鮮半島から手を引いた。

中大兄皇子は天智天皇に即位し、国内の政治をすすめた。

イ _____…天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子が皇位を巡って争い、大海人皇子が勝って、天武天皇になった。

(4) 大宝律令

701年に制定され、律令政治が完成した。

- 律…刑罰に関する法律
- 令…一般の政治に関する法律

ア 中央…2官(太政官と神祇官)と8省

イ 地方…全国を国・郡・里にわけ、中央の貴族を_____に、地方の豪族を_____に任命、有力な農民を里長に任命し年貢を取り立てさせた。

ウ 班田收受法…6年ごとに_____をつくり、男子には2反、女子にはその3分の2の口分田を支給し、死後は返させた。

エ 税制と兵役

税		収穫量の稲の3%
		地方の特産物(成年男子・都まで運脚)
		労役または布(成年男子・都まで運脚)
兵役		国司のもとで60日間の労役
		1年間、都の警備
		3年間、北九州の警備